

2022.12.●  
発行

No.  
49

# まひかの保育



発行者/愛媛県保育協議会  
会長/合田 史宣  
作成者/総務広報部会  
編集責任者/菊池 弥生

発行所/愛媛県保育協議会  
松山市持田町三丁目8番15号  
愛媛県社会福祉協議会内

## 大三島 認定こども園 (今治市)



ウィンナーみたいでしょ!  
(ザクロの実)

## 九和保育所 (今治市)



## 「子どもたちにつなげたい平和」

愛媛県保育協議会 会長 合田 史宣



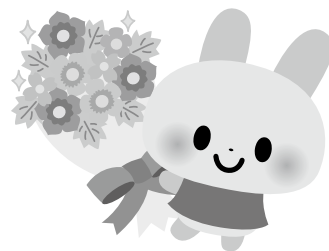
愛媛県保育事業研修大会に参加していただきました皆様、ありがとうございます。3年ぶりの開催で参集とはなりませんでしたが、ようやく開催できたことをうれしく

思っています。さて、研修大会で主催者挨拶でも申し上げましたが、今こそ平和が問われていると思います。第二次世界大戦から70余年、日本人にとって戦争は遠い世界での関わりのないもののように思えました。しかし、今年2月に起こったウクライナ戦争はいつ戦争が起ころとも不思議ではないと言いつ不安を私たちにもたらせました。どんな理由があるうとも、戦争を起こす側に何の正義もありません。とは言っても、毎日ニュースで見せられる戦争の現実の中で悪いことであるはずの戦争がなぜ起こっているのか子どもたちに説明することの難しさを感じます。

平和の大切さは、毎日の生活の中で育ってくるものだと思います。子どもの時の平和な世界の経験こそが子どもの心に平和が根付いてくるのだと思います。保育関係の施設では、人生の最初の集団生活を送ることになります。人間は一人では生きていけない存在ですから、集団生活は必須の条件です。その集団の中で、子ども同士、自分以外の仲間が存在を知ることになり、関係を作ることになります。その関係が対等平等となるように子どもたちを育てることが保育には必要になります。平和というのは人間関係性だろうと思うのです。新しく出会う人に対して対等な関係を作ることの出来る人が多ければ多いほど、戦争は起こりにくくなるでしょう。もちろん、戦争は人の心の中でだけでは起こるものではないので、政治的、経済的、思想的な問題も問われなければなりません。そうした問題に立ち向かうときに、子どもの時に経験した対等な関係の共同の生活を思い出してもらいたいものです。どうか戦争のない世界が早く訪れるように願っています。

## 令和4年度 愛媛県保育協議会 会長表彰 受賞おめでとうございます！

No.	支部名	施設名	職名	氏名
1	四国中央市	寒川保育園	園長	高橋 裕子
2		土居東こども園	園長	菊池 弥生
3	新居浜市	若宮保育園	園長	渡辺 寿美
4		垣生保育園	園長	石川 里代子
5	今治市・上島町	菊間保育所	所長	桑田 智子
6	伊予郡	小富士保育所	保育所長	本多 知子
7	伊予市	おおひら保育所	所長	成本 睦美
8	松山市	伊台保育園	所長	仙波 美恵
9		久米保育園	園長	鵜久森 真由美
10		粟井保育園	園長	宇都宮 公子



長年にわたり、本県の保育事業の発展に寄与された方を 令和4年9月15日に開催される第67回保育事業研修大会において表彰されます。このたびは誠におめでとうございます。

## 令和4年度 研修等日程のお知らせ

No.	名 称	期 日	会場(特設会場)
1	教育・保育施設初級職員研修会	6/15(水)～29(水)配信	
2	保育士等キャリアアップ研修「①乳児保育」	6/23(木)～7/3(日)配信	
3	保育関係者交流セミナー 四国ブロック保育研究大会	6/28(火)～3/31(金)配信 6/28(火)～6/29(水)交流会	愛媛県総合社会福祉会館 高知県立県民文化ホール
4	保育士等キャリアアップ研修「②幼児教育」	7/5(火)	
5	保育士等キャリアアップ研修「③障がい児保育」	8/3(水)～8/13(土) 配信	
6	第67回愛媛県保育事業研修大会	8/31(水)～9/10(土) 配信	愛媛県県民文化会館「サブホール」外
7	保育士等キャリアアップ研修「④食育・アレルギー対応」	10/5(水)～10/26(水)	
8	保育士等キャリアアップ研修「⑤保健衛生・安全対策」	9/21(水)～10/1(土) 配信	
9	保育協議会事例発表会	10/12(水)～10/22(土) 配信	
10	保育士等キャリアアップ研修「⑥保護者支援・子育て支援」	11/1(火)～12/28(水) 配信	
11	四国ブロック保育組織・保育士会次世代リーダー研修会	11/9(水)～11/19(土) 配信	香川県
12	四国ブロック保育士会リーダーセミナー	11/11(金)	愛媛県県民文化会館「真珠の間」
13	教育・保育施設長研修会	12/14(水)	
14	保育士等キャリアアップ研修「⑦マネジメント研修」	1/11(水)～1/21(土) 配信	
15	保育士等キャリアアップ研修「⑧保育実践研修」	2/1(水)～2/11(土) 配信	

## 令和四年度の私たちの取り組み

本会では、1年間を通じた様々な研修会を実施しています。ここでは、各研修会の主な内容や参加された先生方の研修後の感想を掲載させていただきます。

### 教育・保育施設初級職員研修会

○講義Ⅰ「保育士として」

6月15日(水)～6月29日(水)

○講義Ⅱ「愛情深い保育・育む環境・倫理観について」

講師 ことこの広場ぐー・ちよき・ぱー 代表 越智ミドリ氏  
講師 むぎの穂保育園 園長 出原 大氏

○講義Ⅲ「子どもの主体性を育む大人の関わり」～子どもの遊びをおもちゃを通して～

講師 キッズいわき・ぱふ 代表 岩城 敏之氏

### 愛媛県教育・保育施設初級職員研修会を受講して

(松山市)浮穴保育園 岡中 知紘

私は、この研修会に参加し、保育を行うための知識や考え方について学び、自らの保育を見直すきっかけになりました。

私は、保育士として働き始めてまだ三カ月と少ししか経っていません。経験値と呼ばれるものも少なく、自分の中で何が正解かどうかを考え、自問自答する日々が続いています。今では少しずつですが、自分が担任している一歳児の子どもがどういった子どもなのかは分かるようになってきました。どんな時でも元気いっぱいの子ども、マイペースな子ども、大人しい子ども・・・とても個性豊かです。その個性豊かなクラスの子ども達との信頼関係を築けるような関わりができていたかどうか、改めて振り返りができました。自分の思いを保育士に伝えられる子どもとは関わりやすく、その子ども達の欲求を満たすことができます。しかし、思いを言葉に出して伝えることが難しい子どももいます。自分はその子どもの表に出せない思いを汲み取ることができていたのだろうか、その子どもが分かってくれたいことに気づくこととしていたのだろうか、これまでの関わり方を見直すことができました。正直なところその子ども達の思いを汲み取ることができていませんでした。それは、信頼関係が築けていないということになりました。

この研修のお陰で自分の保育を一度立ちどまって見つめ直すことができました。一年目の仕事が一生の仕事を決めるように、0・1歳の期間で人生の方向性が決まると越智みどり先生は仰っていました。今、関わっている子ども達も正にこの年齢です。子ども達の大切な時期に関わっているという自覚を持ち、研修で学んだことをこれからの保育に生かしていけるように頑張りたいです。

### 保育士等キャリアアップ研修「①乳児保育」

保育士等キャリアアップ研修「①乳児保育」を受講して

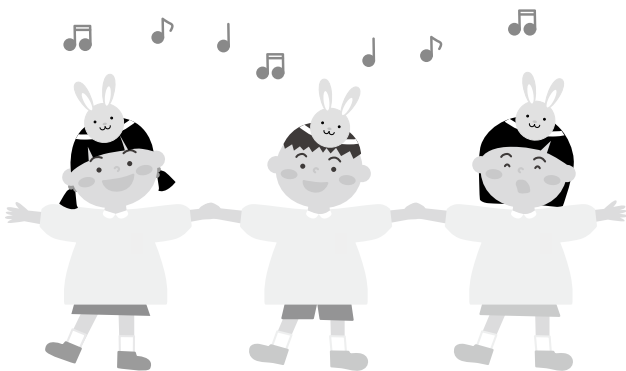
(今治市)九和保育所 三島 咲耶

私は現在0・1歳児のクラスを担当しています。初めての乳児保育は毎日が学びの連続でしたが、今回の研修を通して、保育者としてどのような視点を持っておくべきか、さらに学びを深めることができました。

「子どもの姿に基づいた指導計画」という分野では、0・1歳児の発達過程より、日々の子どもの姿からどのような能力が伸びようとしているのかを捉え、環境づくりや援助の方法を考えていくことの大切さを学びました。私のクラスの子どもたちも、つかまり立ちができるようになった子、歩けるようになった子、部屋のいろんなものに興味を持ち探索行動をする子など、それぞれの姿があります。感覚遊びができる手作りおもちゃや、身の回りのものを使った遊びなど、子どもたちの「これがしたい」という意欲を引き出し、発達を支えられるような環境づくりを目指していきたいと思っています。

また、「共感」することは、乳児だけでなくすべての年齢の子どもたちと関わるうえで大切にしていきたいと感じました。保育者の基本ではありませんが、慌ただしい日々の中で、スムーズに生活が流れることを優先してしまうこともあります。講師の先生の言葉に、「子どもや保護者をわかった気になる保育者から、わかっていける保育者」という言葉がありました。常にわかるように続ける保育者としての姿勢を忘れてはならないと感じています。子どもたちに共感し寄り添うことで、子どもたちが自分の思いを安心して表現できることにも、他者への共感力を育むことにもつながっていききたいと感じました。

今回学んだことを胸に、明日からもまたあたたかいまなざしをもって、子どもたちと向き合っていきたいと思っています。



四国ブロック保育研究大会

7月5日(火) 高知県立県民文化ホール

○基調報告Ⅰ

全国保育協議会会長 奥村 尚三氏

○基調報告Ⅱ

全国保育士会会長 村松 幹子氏

○分科会1テーマ子どもの育ちを保障する

○分科会2テーマ子育てライフを支援する

多様な連携と協働をつくる

○分科会3テーマ子育て文化を育む

子育て・子育ての支援する仕組みをつくる

○記念講演「保育の質の向上」

講師 中村学園大学 教授 那須 信樹氏

四国ブロック保育研究大会を受講して

四国中央市 土居東こども園 細川 美代

コロナ過ということもあり、保育実践や講演を直接聞く機会が減っていました。が、今回、研修に参加させていただいたことで、たくさんヒントをもらい、もともと自分出来る事があるのではないかとワクワクしました。研修の中で現在は保育士も多様化しているという話がありました。保育士たるものこころあるべきと無意識に有能を求めすぎることで、保育士になっても辞めてしまつ人もいるそうです。だからこそ、それぞれの得意分野を伸ばし、苦手な所は補い合いながら『保育の楽しさ』を共有していくことが大切だという話を聞き、身近な大人が認め合い協力し合う姿を見せていく事で、子どもたちが自然とそれぞれの違いや良さを認め合う事に繋がっていくのではないかと思いました。私は、今までどうしても子ども中心に考えがちでしたが、子どもも保護者も保育士もみんなの『共感的自己共有感』を高めていくことが大切なのだと思えました。また、那須信樹先生の講演では、評価に対してもついていたマイナスのイメージが、自分にとつても園にとつてもプラスのものであるということがわかりました。みんな、より良いものにしていくためには、対話をしっかりしていくことや、見えているように見えていない所にきちんと気付く事が大切だと思いました。子どものおもしろいを一緒に楽しめるが、誰もが積極的に発信していけるチームとなるように、しっかりと自己評価を行っていきたいです。

自然がいっぱい! 園舎裏山～笠松山～

笠松山で遊ぼう

宇和島市 立正保育園 高田 そのみ

当園は宇和島市中心部より少し離れた閑静な住宅地に位置し、園舎は日蓮宗法円寺の境内にあります。園児137名元気いっぱいの子ども達です。園のまわりは自然に恵まれ、園のお散歩コースになっています。その一つに笠松山があります。

笠松山は昭和54年に、国際児童年の一環記念事業として自園の裏みかん山を保護者の協力を得てあそびの山に整備されました。子ども達が自然の中でたくましく、豊かな心が育つようにと願いが込められた山で、四十年以上経過した今も子ども達が大好きなあそび場となっています。

山まで続く階段を登った先には坂道が広がっており、高い所でまでかけ登ったりすべり降りたり、普段のあそびでは感じられない解放感を味わうことができます。また春には満開の桜、秋には紅葉や銀杏が彩り、山からは宇和島城や宇和島湾も見渡せます。木のざわめきに耳を傾け「トトロがいるのかな」という子ども達のつぶやきを聞いていると、本当にネコバスに乗ったトトロがやってきそう、子ども達にとって探求心や冒険心を掻き立てられる場所となっています。これからも変わることなく、四季折々の自然の中で五感を感じさせながら生きる力を育んでいきたいと思っています。



## 第67回愛媛県保育事業研修大会

10月5日(水)～10月26日(水)の期間に、動画配信にて実施しました。また、9月14日(木)に実施した式典において、永年の保育活動において功績が顕著であった10名が愛媛県保育協議会会長表彰に選ばれ、代表として伊予市立おひら保育所の成本睦美先生に記念品が贈られました。

(実施内容と参加者アンケート)

○基調報告「全国保育協議会の取り組みと制度動向への対応」

愛媛県保育協議会 会長 合田 史宣



・コロナ禍の対策で、自分が思っている以上に各団体が動いてくれていることが分かり、感謝の気持ちで溢れた。  
引き続き悲惨な事故防止のための取り組みや、子どもが安心して暮らしていける環境づくりをお願いしたい。  
・労働環境が良くなることは、保育の質の向上に繋がる。  
必要な改善点は施設内で考えるだけでとどまらず、要望を挙げていきたい。

○全体講演「楽しく、自分らしくやりがいを感じて働くために『保育のススメ』」

講師 株式会社感性リサーチ 代表取締役 黒川 伊保子氏

・上司や部下、子どもとのコミュニケーション方法について学べたので、より良い保育ができるように職場内で良好な人間関係を築いていきたい。  
・若い人とのコミュニケーション方法を知ることができ、今まで抱いていた違和感の理由を解消することができた。今後は相手を理解したうえで、コミュニケーションを図りたい。

・講師の先生の「自分らしく」の考え方がとても素敵だと思った。笑顔は、相手の笑顔と嬉しい気持ちを誘発させるといふことを学べた。



第1分科会 「子どもの発達に合わせた離乳食の進め方」

■講師 松山東雲女子大学

准教授 影浦 紀子氏

・口唇の動きや子どもの状況を見ているつもりだったが、月齢を気にしすぎて、子どもときちんと向き合えていなかったことを実感した。今後見直していきたい。

・唇、舌、顎の動きや仕組みについて段階を追って図で解説していたため分かりやすかった。



第2分科会 「自閉症それがどうした!」

■講師

濱田 斉子氏・濱田 晋太郎氏

「発達障害と保育」成育医療の実践現場からの視点」

■講師 順風会天山病院・成育医療支援室

室長 小谷 信行氏

・今までにも何度か障害児保育に関する研修を受講してきたが、親子が経験した話を聞くことはなかった。とても勉強になった。  
・関わる人がその人の特性を知り、ポジティブな受け止め方や関わりをすることで人格形成に良い影響を与えることを学んだ。今以上に保育の工夫をしていきたい。

・できないのは子どもせいではなく、できないのは周りが工夫していないから。子どもの挑戦しようとしていることなど、手助けできたらいいなと思う。

第3分科会

「絵本と遊んでみませんか?読み遊びのススメ」

■講師 おはなし屋えっちゃん

代表 武知 悦子氏

・絵本の読み聞かせで大人は文字を読むと言われてハッとした。子どもは字ではなく絵を読んでいるといふことに気づかされた。  
・絵本だけでなく、手遊びなど実践できそうなものがたくさんあった。毎日することなので、すぐにネタがなくなりマンネリ化してしまっていた。早速挑戦してみたい。



第4分科会

「子どもの主体性を育む大人の関わり」

■講師 きつずいわき ぱふ

代表取締役 岩城 敏之氏

・子どもの主体性を育む仕事をしているにも関わらず、その子供を保育している職員たちの主体性が育っていない現実をもう一度見直していきたいと感じた。

・ユーモアのある講師でとても楽しく、また内容も分かりやすくイメージしやすかった。





# おすすめの絵本



## へんなかお

【作・絵】大森 祐子

【発行】白泉社

「ねえねえ みててね」と言いながらいろいろな動物が変な顔をして見せます。

想定外のおもしろい顔にページをめくるたびに笑顔があふれる絵本です。

小さい子から大きい子まで楽しめます。



## いちにちなぞのいきもの

【作】ふくべ あきひろ

【絵】かわしま ななえ

【発行】PHP研究所

作者の代表作である『いちにち〇〇』シリーズのひとつです。世界中のなぞのいきものが紹介されています。こわいものみたさに子どもたちもドキドキ！

絵がとても迫力があり、ユーモアもあふれているので何度読んでも楽しめます。すみずみまで楽しめる絵本です。



## さかさのこもりくん

【作・絵】あきやま ただし

【発行】教育画劇

こもりのこもりくんは、ずっとさかさに暮らしているので、話す言葉も反対です。おなかがへったら「おなかがいっぱい」、遊びたかったら「ぼくとあそばないでね」

さて、こもりくんにお友だちはできるのでしょか？

言葉を覚えた子どもたちが、こもりくんの気持ちになって楽しめる絵本です。